

モニター通信 No.2

皆さんから寄せられた「モニター通信7月分」を紹介します。

「土浦駅前について」

～土浦駅前には市庁舎が移転し、図書館（アルカス土浦）もオープンしました。
今後、土浦駅周辺が消費生活の上でどのようになったら良いと思いますか。～

モニターから No.1

《消費生活展に参加して》

毎年開催されている消費生活展は、いつもながらややマンネリ化した感は否めないと思いますが、やはり何事も繰り返し実施することでそれなりに意義があると感じます。各ブースに出展された関係団体の皆様の日頃の地道な努力に対し、改めて敬意を表したいと思います。ニセ電話詐欺による詐欺被害に遭わないということが、前々から世間一般で取り上げられているが、未だに被害が多発している現状を鑑みて、この消費生活展で詐欺の内容について、実際に警察の方による寸劇等を演じて頂いたら、幅広い年齢の方が来場されている折、結構それなりの効果が期待出来ると思われます。

今年是一次きりの消費生活展のようですが、次回以降も様々な趣向を凝らし実効性のある消費生活展になるよう、消費生活センター職員の皆様全員のご活躍を期待したいと思います。

モニターから No.2

魅力的な街を作ったらどうですか？昔の土浦はデパートが何軒もあり、人通りも多かった。今は閑散としている。人通りを増やさないと消費生活につながらないと思います。ショッピングモールを作り、子供たちの遊び場や犬用のドッグラン等を作ったらどうでしょうか？人が集まれば飲食して商品も購入。地域活性化して消費生活が良くなると思います。

モニターから No.3

現在、私たちが買い物や飲食を行う上で車は欠かせない存在です。店は駐車場がなかったり、離れた所にある有料の駐車場を使わざるを得ない状況では、駅前の商店街の衰退は仕方がないことなのかもしれません。ただ土浦駅前には市役所や図書館があり、また市内にはいくつもの高等学校があります。かつてのように市内や周辺から土浦駅前の商店街に買い物にやってくるのではなく、駅や公共施設を利用する人に向けた店、また駅近くに住んでいる人が毎日の買い物に利用する店があれば十分なのではないでしょうか。

最近、街歩きをしていると思われる人から幸福稲荷や古書店の場所を尋ねられました。土浦は街歩きという面からみると、まだまだ発展する余地はあると思います。レンタサイクルだけでなく、歩いて楽しめることをもっとアピールすべきだし、街並みの保存や整備も必要です。その街歩きの拠点はやはり土浦駅周辺だと思います。

モニターから No. 4

土浦駅前（西口）は案内のように整理されましたが、一見して寂しいのが第一印象です。それは歩く人が非常に少なくお店が無いことで、全くと言っていいほど活気がありません。また、他都市から見れば考えられないことで、魅力度ワースト2と言われても仕方ありません。この現状を打破するために、次により提案したいと思います。

1. 基本事項

- ①土浦市民は人口が少ないことを認識して、市民が集まりやすく楽しめる駅前にする。
- ②以前のお土産屋さんなどが復活して市内、霞ヶ浦の産物をお土産として大々的に販売出来るようにして他市、他県から多くの人を呼び込むようにすること。
- ③土浦駅から125号線の亀城公園までと同駅から24号線の千束町までの商店街を復活させること。

2. 実施事項

- ①土浦駅ビルを商業ビルとすること。スーパーマーケットを導入して日用品の販売を大々的に行い、此处で事が足りるようにする。
 - ②同様ビル内で土浦・霞ヶ浦の特産物を大々的に行い、此处に来れば茨城南部の特産品は何でも揃うとして市内、他市、他県からの呼び込みを行う。
 - ③市内外から多くの人を呼び込むため市内、特に駅周辺の駐車場の料金を大幅に下げること。
 - ④この計画は土浦市の施政だけでは実施不可能と考え、民間団体との共同実施とする。
- 駅前が発展すれば、土浦市の中心に活気が出て発展すると思います。

モニターから No. 5

*土浦西口駅前について

市役所・図書館の移転新設に伴い、駅前ロータリー・歩道スペースもスッキリし、都会的文化的イメージ！反面 駅ビルは全面改装のため飲食店・日用品店が閉鎖されて1年程。再開日表示も目立たなく夕暮帰宅の学生・通勤者が足早に消え行く姿が目につきます。

「土浦駅に降りても何も無い」では茨城県魅力度最下位脱出からも……。魅力ある再開が待たれますが、日常生活品・食料品等が少なからず整うエリアも望みます。

*土浦東口駅前について

西口→東口→西口へ往来がスムーズに出来るように開発がされたら、人の流れに変化が生じて新しき街が。東口は霞ヶ浦が広がる風光明媚な恵まれた自然を持ちながらも、かつての観光地の様は失せ気味でも帆曳舟や水陸両用バスの集客に努力しておられる！

もっと県外の沢山の方々にも知って頂けますように『街おこし』は

☆アイデア

☆インフォメーション

☆勢い

と、予算だと思います。

霞ヶ浦マラソン

全国新作花火大会

霞ヶ浦遊覧の醍醐味

モニターから No. 7

土浦駅周辺が橋上化して、図書館・市役所・ウララが行き来しやすくなったのは良かったと思うが、土浦駅がサイクリングする人の施設中心になり、書店・飲食店（少しはあるが）・衣料品店が無くなってしまって不便だという声を聞く。旧丸井ビルが居酒屋やパチンコ屋等になっていて土浦駅に降り立ったときのイメージが悪い。

旧丸井ビルの中に、家族が気軽に利用できる飲食店や書店・衣料品店、屋上に小さな遊園地を作り、これらの店のスタンプがあれば、市営や図書館・近隣の駐車場を使えるようにするのはどうか。駐車場が手軽に利用できるかどうか、買い物等の大きなポイントになると思う。

土浦と言ったら「霞ヶ浦」がシンボルだから、市役所か土浦駅の壁面に大きく描いてアピールしてはどうか。駅東口からヨットハーバー、運動公園への遊歩道の整備、大人も子どもも使える公園の設置、土産物店（以前あったのが移転してしまったが）等、霞ヶ浦をもっと観光化することも考えたい。

モニターから No. 8

私は神立に住んでいますが、昔の土浦を思い出すと買い物客等で賑わい活気に満ちていて、行くだけで楽しい場所でした。昔は利用し易い安価な駐車場があったように思いますが。駅前の大手スーパーが無くなった時は、とても残念でした。さらに以前はほかの大手スーパーもありました。他の個人の店舗や飲食店など、立ち寄り易かったように記憶しています。

今となっては難しいかもしれませんが、私にとっては止めやすい駐車場がポイントだったかなと思います。こういった状況は多くの地方都市に見られることのようなですね。最近は図書館も慣れてきたので、大いに利用させて頂きたいと思います。ついでに食事をしたり、ショッピングも気軽にブラッと立ち寄れると良いのですが、難しそうです。

モニターから No. 9

市役所が移転し、さらには図書館も移転し、土浦市は公共機関の移転によって少しずつ変わろうとしています。活気が戻ってきたとはまだ言えませんが、市役所や図書館はきれいになって使いやすくなり、利用者も徐々に増え穏やかな市になりつつあります。しかしながら、駐車場等に関してはまだまだ改善されておらず、立体駐車場は使いにくいという観念が強いです。お年寄りの方はバスや電車を使って利用される方も多いと思うので、利用するたびにポイントがもらえて、それを使って利用できるお店やサービスがあったら、もっと利用者が増えると思います。

土浦市が活気あふれる街に戻れることを願いつつ、公共機関に足を運んでもらって利用してもらえる工夫も今後も考えていきたいと思っています。

モニターから No. 10

駐車場無料があるといいですね。駅ビルの中や駅近辺を歩くことは出来ます。またワンコイン体験コーナーなどがあると面白いですね。例えば曜日設定でヒップホップダンス・柔軟体操・フラフープ・親子で遊べるゲーム。体を動かすと心も軽やかになるので。

モニターから No. 11

土浦駅前、私が土浦に住み始めた頃は駅前通りの商店街、大手スーパーやデパートなどで賑わ

っていたのに、今は見る影もない。時代の変遷とは恐ろしい。それも50年100年経ったということではないのだから。

国内を旅行してみると、地方都市で駅周辺が賑わっているところは、ビジネスが盛んであるという土地でなければ、文化施設が有名なところですよ。そういう意味では図書館ができたのは良いかもしれないが、図書館はどこにでもあり、よほど特徴のある蔵書を持たないと、土浦の現在のように老人クラブになってしまう。市役所まで駅前に来てしまったのだから、ビジネスというより文化施設を充実させて、東京からでも訪れたい街にすべきです。水戸芸術館まで行かなくても一流音楽家によるコンサートが聴ける立派なコンサートホールを作る、有名な絵画・芸術作品を所蔵する美術館を作る（現在の美術館をそのように充実したものとする）など。

隣のつくば市に住む人からさえ、土浦＝ダサイと言われることは、市のイメージが昔のままだからでしょう。

モニターから No. 12

アルカスを中心として土浦のリニューアルが企画されていますが、アルカスの集客力を霞ヶ浦湖畔の観光資源につなげる工夫はいかがですか。

駅東口の霞ヶ浦湖畔はヨットハーバーがあり恰好の散策湖畔道があり、またイベント会場になる市営球場や陸上競技場があります。ここに湖畔を臨む「フード&サイトリゾートセンター」でもあれば、アルカスで満喫した人々の土浦での魅力を加算できるのではないのでしょうか。

霞ヶ浦湖畔は風光明媚ですが、これを享受して食事などを楽しむ場所がありません。また、国内屈指の観光資源である霞ヶ浦湖畔を目前にしてガイドする施設も十分ではありません。ここに首都圏の癒しの場としてのポジショニングを生かして、駅西口と東口を回遊できる手だてとなる消費活動を促進する施設を誘致することにより、湖畔の街・土浦の魅力を記憶してもらうことができるのではないのでしょうか。

モニターから No. 13

《消費生活展に参加して感じたこと・考えたこと》

亀城プラザは初参加でした。新治会場に比べて来訪者が少なく、残念に感じました。やはりスーパーも近くになく、駐車場の確保はしても分かりにくかったり、近くの高校の文化祭にも重なったりしたからでしょうか。いっそ桜祭りに合わせて実施したら、人が集まってくれると思います。小・中学校への広報はどうだったのでしょうか。環境マナーとか宣伝を家族向けに楽しいチラシを作ってみては……。

会場作りで良かった点は、土浦市制50周年記念に作られたイメージソング「風の贈り物」が流れて温かな郷土のふるさとが感じられ、訪れてくれた人にやさしく接することが出来ました。つちまる（70周年）と共に市のイベントにどんどん活用して素敵な街を皆で作っていきましょう。

モニターから No. 14

子供がいる私にとってアルカス土浦がオープンしたことは、とても嬉しかったです。学びの場になりそうです。しかしながら、土浦は以前に比べて居酒屋・パチンコ店等、夜の街としてのイメージが強く、頻繁に行く場所ではなくなっていました。子供や高齢者、若者のニーズに応

えられる街が、消費生活向上に繋がるのではないのでしょうか。

例えば土浦駅付近に大きなホール・公園でもあったら、有名歌手・グループを呼んでみたりヒーローショーをしてみたり、使用していない時は運動ができる体育館等になれば・・・なんて考えてみました。そうしたら遠方の人でも土浦を使用し、また活気が戻ってきそうな気がします。「自転車の町・土浦」は赤ちゃんや老人にとっては、あまりピンとこないと思います。

毎年10月に開催される花火大会の他に土浦ならではのメインイベントがあったら、消費生活は拡大するはずですよ！！（イメージしたのは、ひたち海浜公園のようなところでした。）

モニターから No. 15

市役所のロビーは、休憩のため時々利用しております。学生や社会人の学習の場、赤ちゃん連れの若いお母さん方や高齢者の談笑の場等に利用されているように見受けられて、大変良い雰囲気のところだと思います。

外の広場に於いては「道の駅」や「朝市」のような感じでレンコンをはじめ、地元の農産物を生産者の方に出店して頂き、イベントではなく日常的に賑わいのある広場になれば良いと思います。子供にも人気のあるような美味しいメニューを揃えると、家族で利用できる楽しい広場になると思います。

モニターから No. 16

- ①シニア世代を対象とした商業施設ゾーン。特に衣料品・飲食店等を展開。
 - ②キララバスを充実させて荒川沖・神立・新治方面からも駅前に集客し、キララバス利用をポイント制にして買い物時に利用出来るようにして、キララバスの利用を促進し高齢者の免許証の返納につなげる。
 - ③映画館で、曜日を決めてシニア・デーにして昭和の懐かしい映画をリバイバル上映する。
- アルカス土浦もオープンし、サイクリング施設もでき駅ビルも来年にかけて刷新され、今の閑散とした状況から老若男女が行き交う賑わいのある駅前になって欲しいものです。